

太平の世に向けてビスタライン 日本の運命を大きく変えた



ビスタライン 山門内側から惣門の彼方に岡崎城 山門



山号	成道山
院号	松安院
宗派	浄土宗
本尊	阿弥陀如来
創建	松平(4代)親忠 1475年(文明7)
開山	勢營愚底(せいよくてい)上人
住職	中村康雅 貫主
住所	岡崎市鴨田町広元5-1

惣門から岡崎城



大樹寺から岡崎城を望む眺望

ビスタライン Vista Line

山門、惣門を通じて3キロ先に岡崎城が眺望できます

大樹寺は岡崎城の遙拝所として存在し、この風景は約380年もの間、岡崎市民により守られています

遙拝所…遠く離れた場所から神仏などをはるかに拜むために設けられた場所。

惣門 (大樹寺小学校 南門)



事務局の加納さんにご案内いただきました



“まず、外から見ていきましょう。それから本堂へ”



1641年(寛永18)、徳川三代将軍家光は、家康の十七回忌を機に、徳川家・松平氏の菩提寺である大樹寺の大造営を行った。この際に、「祖父生誕の地を望めるように」と、本堂から山門、惣門を通して、その真中に岡崎城が望めるようにした。歴代の岡崎城主は、天守閣から毎日ここに向かって拝礼したとも伝えられている。

ビスタラインは、法や条例による保全のための規制がないなかで、ライン上で生活される方々が眺望を遮らないように配慮して建築することで守られてきた。現在は条例で強制力のある高さ規制で守られる。